

# 生ごみ処理、順調ですか？

使用状況  
調査報告

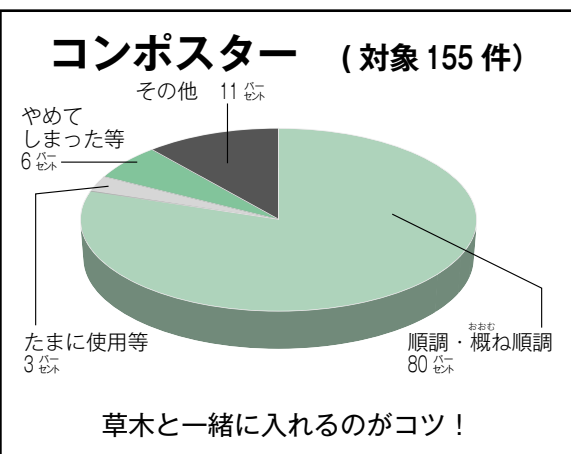
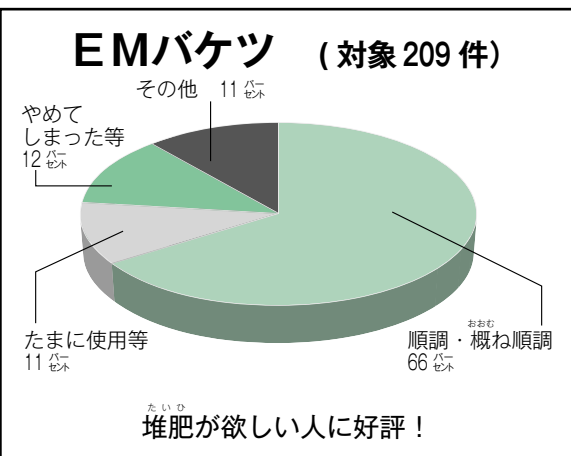
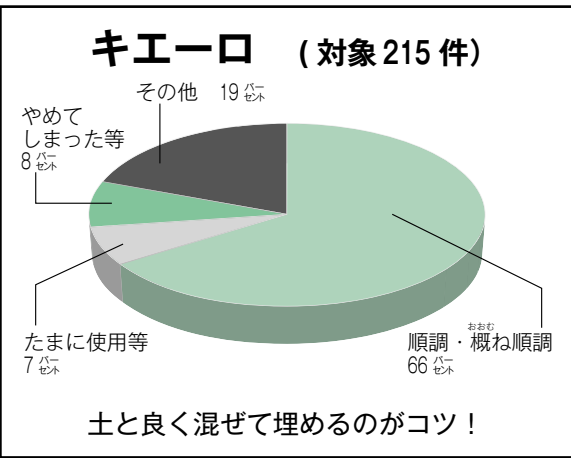
町では、ごみの減量を目的として家庭での生ごみ処理を推奨し、様々な機種に対する補助金や割引販売の制度を設けています。制度を利用して生ごみ処理機を購入した人には、使用状況の調査、サポートをしています。平成22年度までの使用状況をまとめましたのでお知らせします。

## 窓口割引販売

電気を使用しないタイプの生ごみ処理容器について、平成21年4月から現場窓口で割引販売を実施しています。機種ごとの使用状況は次のとおりです。



最も販売台数が多かったキエーロは、約200件の購入があり、そのうち66%が「順調・概ね順調」という結果でした。



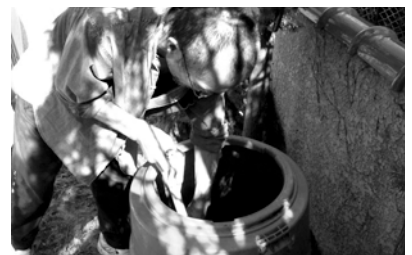
他の機種に比べ、キエーロは初めて生ごみ処理に取り組む人の割合が高いことが特徴です。堆肥が不要などの理由でこれまで生ごみ処理に取り組めなかった人が取り組めるようになった一方で、疑問や質問も多く寄せられました。土に生ごみを入れる際よく土と混ぜるのが上手に使うコツですが、混ぜずに埋めたために臭いがしてしまうケースがよく見受けられます。また、日当たり・風通しの良い場所に置いているほうが順調に使用できているようです。

EMバケツは、約200件の購入があり、そのうち66%が「順調・概ね順調」という結果でした。EMバケツは、バケツ内でEMぼかしと混ぜ合わせ、いっぱいになったら土に埋めるのですが、バケツの中で分解・消滅すると認識していた人が多く、埋める場所がなくてやめてしまったというケースがありました。堆肥として使用している人は、「いい野菜ができる」と大変好評でした。



EMバケツ

コンポスターは2年間で約150件の購入があり、そのうち80%が「順調・概ね順調」に使用していることがわかりました。やめてしまった等の理由としては、虫の発生や臭いがあげられました。生ごみだけを入れている世帯が多いようですが、草木・土を生ごみよりも多めに入れることが上手に使うコツです。虫の予防としてフタの裏側に防虫剤を貼り付けている人も多くいました。



コンポスター

### ◀ミラコンポ



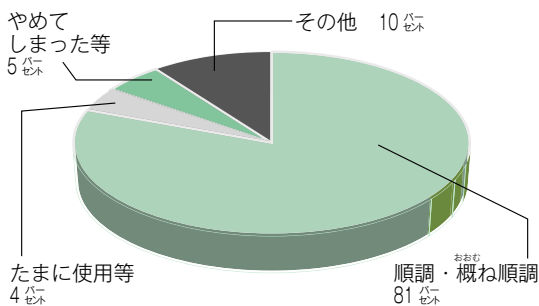
ミラコンポは、購入された約100件のうち、

81%が「順調・概ね順調」という結果でした。

ミラコンポは夏場は虫が発生しやすい機種ですが、その分

もっとも手間・スペースのいらぬ機種でもあります。機械の特徴を理解し、たうえで、順調に使用している人が多いようです。虫の予防としては、コンポスター同様、防虫剤をフタの裏側に付けている人が多くいました。

### ミラコンポ (対象105件)



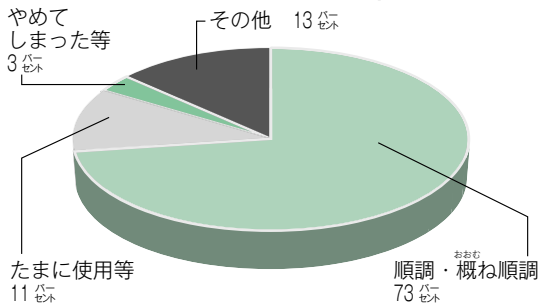
手間いらずだが夏場の防虫対策が必要！

### 電動式生ごみ処理機

電気を使用して安定的に生ごみ処理をする電動式生ごみ処理機には、補助金を交付しています。平成21年から22年度に購入した人の使用状況を調査したところ、73%の人が「順調・概ね順調」という結果でした。

電動式生ごみ処理機には、熱の力で生ごみを乾燥させる「乾燥式」と、微生物によって分解する「バイオ式」の主に2種類あります。堆肥が必要かどうかなど、販売店でよく相談してから自宅に適したものをご購入ください。

### 電動式生ごみ処理機 (対象63件)



販売店でよく相談しましょう。

### 環境審議会委員募集

町の環境基本計画の推進や、環境の保全と創造に関することについて、町民の皆さんの意見を伺うため、環境審議会の委員を募集します。

対象 20歳以上75歳未満の町在住者で他の審議会等の委員ではない人

募集人数 若干名

任期 2年

申込み

「葉山の環境について」をテーマに

1,200字程度で意見をまとめ、住所、氏名、年齢、職業を書いて、郵送で応募してください。

※応募いただいた意見をもとに、選考し決定します。

問合せ 環境課 ☎内線453

締切 6月15日(水) (消印有効)

### いけがき設置助成金

殺風景な庭にみどりを増やしたい、ブロック塀をやめていけがきにした、い、そんな希望はありませんか？

町では、みどり豊かな住みよい環境

づくりの推進と防災のため、新たに「い

けがき」を設置しようとする場合と、

いけがき設置のためにブロック塀を撤

去する場合に助成金を交付します。

助成金の額 設置にかかった費用の2

分の1(次の単価以内)

いけがき設置1㎡につき3千円(上

限6万円)

ブロック塀撤去1㎡につき5千円

(上限10万円)

申請の前に

助成には条件があります。また、予

算の範囲内での対応になりますので、

必ず事前にご相談ください。

申込み・問合せ 環境課 ☎内線453

### 外来生物捕獲数報告

アライグマ・タイワンリスの被害にお困りの人には捕獲器の貸出しをしています。平成23年度の外来生物捕獲数は、アライグマ95頭、タイワンリス1,089匹でした。ご協力ありがとうございます。被害根絶のため、引き続きの捕獲をよろしく願います。

◆4~6月分のタイワンリス捕獲数の報告がまだの人は、(捕獲数0でも)

お知らせください。

問合せ 環境課 ☎内線453

# 危険物安全週間

6月5日(日)～6月11日(土)

平成23年度危険物安全週間推進標語

「危険物 無事故のゴールは  
「譲れない!」

今日、石油類をはじめとする危険物は、一般家庭、事業所等において幅広く利用され、国民生活に深く浸透し、その安全確保の重要性はますます増大しています。

このため、事業所における自主保安体制の確立を呼びかけるとともに、広く町民に対して危険物に対する意識の高揚と啓発、理解を深めていただくよう毎年6月の第2週を「危険物安全週間」としています。

## 危険物とは

消防法で定められているもので、一般的に次のような危険性を持った物品をいいます。

- ① 火災発生の危険性が高い
  - ② 火災拡大の危険性が大きい
  - ③ 消火の困難性が高い
- 私たちの身近なものでは、ガソリン・灯油・油性塗料等があります。

## 危険物施設における危険物 事故防止に関する重点項目

- ① 地震対策の推進  
危険物施設における地震時の対策の検証及びそれを踏まえた見直しが必要です。
- ② 日常点検の推進  
「検査箇所は適切であるか」などの問題意識を持って日常点検に取り組むことが重要です。
- ③ 保安教育の重要  
知識不足や慣れから生じる事故を防止するため、保安教育等を実施することが重要です。
- ④ 経年劣化による流出事故防止対策の推進  
老朽化したタンク、配管を補修又は取り替える等の対策をすることが重要です。

## 家庭内の危険物の事故を 防ぐポイント

- 1. 保管のポイント
- ◎ 子供の手の届かないところに置く
- ◎ 高温になる場所には置かない

## 危険物の事故事例

- ◎ フタは確実に閉める
- 2. 取扱いのポイント
- ◎ 火を止めてから給油する
- ◎ 定期的に換気する
- ◎ 使用中は火気厳禁

### 《事例1》

台所でガステーブルを使用中に、使い終わったスプレー缶を捨てるために穴を開けたところ、缶内に残っていたガスが噴出し、ガステーブルの火が引火し火災となった。

### 《対策》

スプレー缶の中身を完全に使い切ってから捨てましょう。

### 《事例2》

石油ストーブの火を消さずに燃料タンクに灯油を補給したところ、誤って灯油がこぼれ石油ストーブの火に引火し火災になった。

### 《対策》

火を消して燃料を補給し、周囲の火気に十分注意しましょう。

その他、スプレー製品など普段何気なく使用しているものの中にも危険物が存在しています。

「正しい取扱いと保管方法」「危険特性」の再確認をしておきましょう。

## 「住宅用火災警報器」の 設置義務化が始まりました!

6月1日より義務化が始まり、住宅用火災警報器の設置が必要です。住宅火災の死者数の半数以上が逃げ遅れによるもので、火災の早期発見が非常に重要です。また設置されていない人は、大切な生命と財産を守るため、住宅用火災警報器を設置してください。

### 問合せ

消防本部 ☎876-0119  
内線322

